

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	その他専門店〔携帯電話〕（従業員）	・進学、就職者の携帯電話需要が、一番多くなる時期である。加えて、チラシも投入するため、良くなる。
	やや良くなる	百貨店（営業担当）	・2、3か月後は、売場のリニューアルと新しい商品の展開で、やや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・4月の選挙は、特需とまではいかななくても、プラス要因にはなる。あらゆる方法で客の財布を開き、上向
		コンビニ（店長）	・競合店がオープンして1年以上経ち、新店効果が薄れて、客が戻ってきており、店の前の道路工事も終わるのでやや良くなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・善光寺のご開帳という7年に1度の行事があり、60万人の観光客が見込まれる。客単価は低いが、大勢の客が来るので多少は良くなる。
		ゴルフ場（支配人）	・この冬ほど雪による被害を受けた年はなく、プレーヤーもともにゴルフが出来なかった。その反動で3、4月の予約は好調である。
		住宅販売会社（経営者）	・年内入居が住宅のローン控除の期限であることは客も知っており、具体的な計画が進んでいる。3か月後は契約数が増加する。
変わらない	商店街（代表者）	・善光寺のご開帳という7年に1度の催事があり、お土産品や飲食店はやや期待できるが、物販はあまり期待	
	一般小売店〔金物〕（経営者）	・春になり、農業関係の需要が増加するが、工事関係が依然として不調で、プラスマイナスで変わらない。	
	百貨店（販売促進担当）	・入学、就職、プライダル等の春の商戦では、景気を反映してか、婦人ブラウスは地味なグレー、スーツは白黒が多い。華やかさにかけ、売上も期待できない。	
	百貨店（販売促進担当）	・婦人服の動きが良くなっているが、雑貨の不振が続いている。	
	スーパー（統括）	・消費者の生活防衛への意識は高まっており、メモやチラシを持った客が以前より多く、無駄な買物はより一層しなくなっている。	
	衣料品専門店（経営者）	・暖かくなり、客の出が良くなっても、財布が厳しいことは変わらない。	
	衣料品専門店（経営者）	・2月後半に、市内の大手企業が自己破産を申請した。負債総額は最低でも60億円と言われており、影響をこうむる中小零細の業者は相当数に上り、商業にも	
	乗用車販売店（従業員）	・客が低価格の車に集中し、高額な車は売れない状況は今後も変わらない。	
	乗用車販売店（営業担当）	・自動車の性能が良くなり、大きなトラブルがない限りは乗り続けるという客が増加している。その分、サービス需要は好調であるが、販売に影響が出てい	
	乗用車販売店（販売担当）	・何か月も前から新車の売行きは悪く、2～3か月後にいきなり売れるということはない。車が必要な地域なので、中古車に関しては売れているが、急に倍売れ	
	住関連専門店（店長）	・この2、3か月の来客数、買上点数、売上から判断すると、今後も変わらない。	
	高級レストラン（店長）	・客は、現在の生活を維持するだけで精一杯であり、新たな購買意欲や消費意欲は極端に低下している。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・企業の総会シーズンに入るが、明るい兆しが全くない。	
	旅行代理店（経営者）	・4月の選挙の影響で、旅行の動きがなく、ゴールデンウィークの受注もまだまだ少ない。	
	通信会社（社員）	・携帯市場は買い替え需要が中心であるが、第3世代携帯電話への買い替えは停滞してきている。	
	美容室（経営者）	・卒業、入学を控えているが、前年並みの売上を確保するのは至難のわざである。	
	その他サービス〔自動車整備業〕（事務長）	・依然として車検や一般整備の安売りが続いている。顧客数を確保できても値引きを強いられ、全額請求できず、厳しい。	
	住宅販売会社（経営者）	・相続税の物納が多く、土地の流通が鈍くなっている。	
	やや悪くなる	一般小売店〔青果〕（店長）	・必要のない物は安くても手を出さないという買い控えの傾向は、依然として続く。

		百貨店（販売促進担当）	・エリアの商業環境が変化し、対前年比では高まる見込みだが、消費全般では、県の失業率も悪化し、低迷する。
		スーパー（店長）	・大型競合店の出店により、衣料品の買控えが徐々に始まっている。あわせて食品価格も下げており、来客数が伸びるかわからないが、単価は確実に低下しているので、やや悪くなる。
		スーパー（副店長）	・特売日以外の来客数は減少しており、客は必要な商品以外はなかなか買わないので、一層厳しくなる。
		乗用車販売店（経営者）	・最大需要期の今、買い替えを考える客は非常に少なく、年式の古い車でも継続車検を受ける客が増加して
		スナック（経営者）	・良くなりそうな気配もなく、選挙前は大抵落ち込むので、もうしばらく厳しい状態が続く。
		観光型ホテル（経営者）	・今後数か月分の予約状況をみても、良くなる気配がなく、しばらく来客数、売上ともに減少する。
		旅行代理店（経営者）	・以前の不景気ならば、何かけん引になる良い業種があったが、今はいずれの業種も苦しんでおり、底はみえていない。まだこれからも悪くなる。
		タクシー運転手	・4月に格安タクシーの進出が決定した。価格破壊が始まるのではないかと不安である。
		美容室（経営者）	・卒業式、入学式で髪をセットする客が増加するので、極端に悪いということはないが、前年並みの売上
	悪くなる	商店街（代表者）	・3月15日に近隣地域にアウトレットモールがオープンする。4月の連休前には、アウトレットの向かいにショッピングモールが開店するので、今後、売上はかなり減少する。別の場所にも冬にショッピングモールが出店する予定であり、地元の集客がかなり落ちる。
		一般小売店〔金物〕（経営者）	・小商圏にもかかわらず、ここ1～2年大型店の出店が相次ぎ、地域の小売業の需給バランスが完全に崩れている。商圏のパイは決まっているのに、その中で食い争いなので、商店街の活性化にも非常に影響す
		衣料品専門店（販売担当）	・大手百貨店が完全撤退したことにより、来客が量、質ともに悪くなる傾向にある。また、選挙運動が始まるので、景気は悪くなる。
		一般レストラン（経営者）	・例年であれば歓送迎会の話が出る頃であるが、そのような話も聞かない。先の予約も全く入っていない。
		都市型ホテル（スタッフ）	・月々の売上が、目標と比べて毎月500～700万円少ない状況が続いており、今後の宿泊数も非常に少ない数値である。月々の目標から1000万にいかねば良いという状況で、700～800万円のマイナスは覚悟をしなければならぬ。
企業動向関連	良くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・今年も例年通りの受注が見込まれ、1年で1番忙しく稼働する。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者）	・受注高が昨年10月頃より増加傾向にある。自動車関連の増加は一段落したが、建設機械関連部品はまだ増加傾向をたどっている。
		金融業（経営企画担当）	・製造業全体では厳しい状況が続いているが、一部特殊な技術力を持つ企業が好調で、売上高もピーク時まで回復しているところもあり、新規受注の対応で設備投資に踏み切るといった動きもみられる。
	変わらない	化学工業（総務担当）	・全ての産業が悪いわけではなく、自動車関連と環境分野の水処理の産業が良いが、我々には影響が少な
		金属製品製造業（経営者）	・日本の大手建機メーカーの、中国での大型ブルドーザーの生産と受注に伴い、大手油圧機器メーカーに受注がかなりきている。
		経営コンサルタント	・消費、雇用、設備投資の不振は続いており、資金は回っていない。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・外部環境に不安要素が多く、取引先が投資に対する決断ができず、様子見状態が続いている。
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・2～3月は急な増産で慌てているが、在庫の上積みのおかげで4月以降は急に生産量が落ちるので、やや悪
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・昔は2、3か月良いとそのまま景気が良くなったが、現在は非常に不安定で、景気が良くなる要素はな
		輸送業（営業担当）	・取引先が今後在庫を持たない方向になり、配送対応体制の見直しをする。人員と車両台数の削減が必要となり、厳しくなる。

		<p>その他サービス業 [放送] (営業担当)</p> <p>悪くなる</p> <p>一般機械器具製造業 (経理担当)</p> <p>電気機械器具製造業 (経営者)</p> <p>金融業 (融資担当)</p> <p>広告代理店 (営業担当)</p>	<p>・企業が広告の効果を上げるため、CMが多様化し、期間も短く小口化している。技術的に難しく手間がかかるCMが増加し、経費がかさんでおり、利益の落ち</p> <p>・海外生産による空洞化が更に激しくなる。</p> <p>・取引先の3、4月以降の生産内示は厳しい数字となっており、悪くなる。</p> <p>・医療費の自己負担の増加や、給料低下による可処分所得の減少から、客は商品を買うときには無駄な物を買わず、同じ物でも安くなるまで待っている。</p> <p>・通常より売掛金の回収が活発になっており、自転車操業の会社は今後倒産する。</p>
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる		
	変わらない	人材派遣会社 (経営者)	・派遣の要請ではなく、引き取りの話が多く、仕事はほとんどない。
		人材派遣会社 (経営者)	・契約更改の最盛期であるが、派遣料金の引き下げ要請が多く、時給引き上げは困難である。数年前は時給据え置きでは、契約解除をする派遣社員がいたが、不況下の昨今では職場確保が優先されている。個人所得が増加しなければ、景気は変化しない。
		職業安定所 (職員)	・有効求職者のうち、リストラ等により離職した中高年齢者の占める割合が増加している。中高年は年齢制限や実務経験等により応募できる求人が少なく、取り巻く雇用環境は一段と厳しい。
		職業安定所 (職員)	・3月以降も企業整備による離職者は発生する。今後、一部の業種で求人数が増加しても、求職者とのミスマッチはなかなか解消されないため、採用数の増加
やや悪くなる	人材派遣会社 (社員)	・取引環境が悪くなっている状況は変わらない。値引きの要請が立て続けに増加している。また、新規での顧客獲得の見込みもなく、明るい希望はあまり持てな	
	民間職業紹介機関 (経営者)	・余剰労働力の削減による企業維持が一層進む見込みである。求職者は意外と明るい人が多く、金銭不安がなく、再就職をする必要がない高齢者が労働市場からの撤退しないことが、真に必要としている年代への阻	
	学校 [短期大学] (就職担当)	・多くの学生が希望する管理部門は、配置転換等で対応する企業が多い。大手メーカーのリストラによる1700名のうち、再就職が決まったのは1%程度である。ハローワークから企業に積極雇用を求めており、新卒求人への影響が懸念される。	
悪くなる			